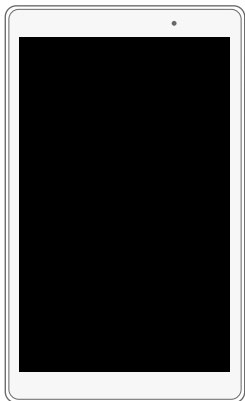


MediaPad T2 Pro  
クイックスタートガイド

## お買い上げ品の確認

このたびは、「MediaPad T2 Pro」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

### ■ MediaPad T2 Pro 本体



- \* 電池は、本機に内蔵されています。
- \* 本体の背面カバーは外れません。

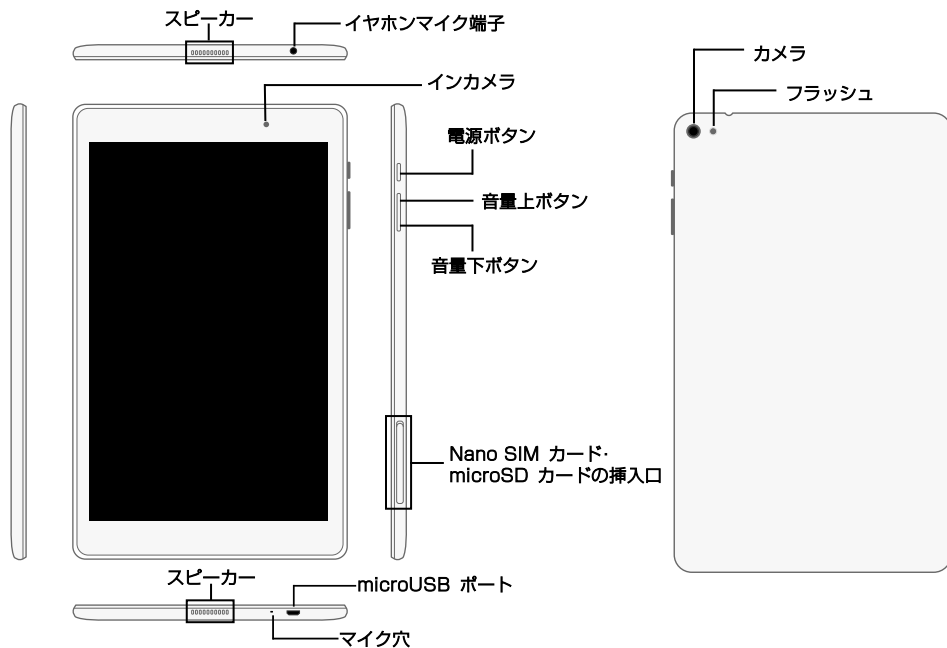
### ■ 本体付属品

- ◆ 本体
- ◆ クイックスタートガイド（本書）
- ◆ 保証書

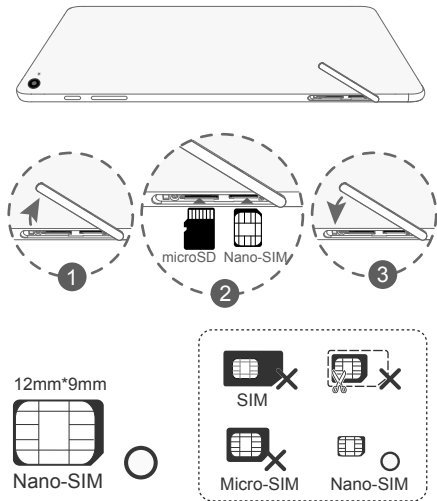
### ■ お知らせ

- ◆ 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- ◆ 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- ◆ 本書の本文中においては、「MediaPad T2 Pro」を「本端末」と表記しています。あらかじめご了承ください。

## 各部の名称



## USIM カードと microSD カードの取り付け



1. カードスロットカバーのミゾに指先をかけて開く。
2. USIM カードまたは microSD カードの金属端子面を上にして、カチッと音がするまでゆっくり差し込む。
3. カードスロットカバーを閉じる。

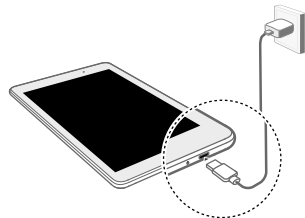
## USIM カードの取り扱いについて

- 他社製品の IC カードリーダーなどに USIM カードを挿入し故障した場合は、お客様ご自身の責任となり当社は責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- IC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIM カードにラベルなどを貼り付けしないでください。故障の原因となります。
- USIM カードのお取り扱いについては、USIM カードに付属している説明書を参照してください。
- USIM カードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失・破損による USIM カードの再発行は有償となります。
- 解約などの際は、当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいた USIM カードは、環境保全のためリサイクルされます。
- USIM カードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- お客様ご自身で USIM カードに登録された情報内容は、控えをとっておかれることをおすすめします。登録された情報内容が消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- USIM カードや端末 (USIM カード挿入済み) を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。詳しくは、お問い合わせ先 (→P.23) までご連絡ください。
- USIM カードの取り付け/取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

## 充電について

- お買い上げ品に AC アダプタは含まれておりません。
- ワイモバイル指定の AC アダプタをお使いください。
- AC アダプタ、およびその他の周辺機器についてはワイモバイルのホームページを参照してください。
- お使いになる AC アダプタの取扱説明書を参照してください。



### 本端末や AC アダプタ (別売品) の発熱について

低充電中は本端末や AC アダプタ (別売品) などが温かくなることがありますが、故障ではありません。ただし、極端に熱くなる場合には異常の可能性があるので、その場合にはただちに使用を中止してください。

### 長時間ご利用時のご注意

本端末を長時間ご使用になる場合や充電中など、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

## 充電中のディスプレイ表示について

電源を切っている間でも、電源ボタンを押すとディスプレイが点灯してアニメーションが表示され、充電の状況が表示されます。

## 初期設定について

はじめて本端末の電源を入れたときは、初期設定画面が表示され、Wi-Fi や Google アカウントなどの設定を行うことができます。画面に従って、各項目を設定してください。

電源を入れる前に USIM カードを取り付けておいてください。

1. 言語と地域の設定を行う。
2. 必要に応じて、接続する Wi-Fi ネットワークの設定を行う。
3. 画面に従って、その他の設定を行う。




- すでに他のAndroid 搭載端末を使用している場合は、「別の端末から Google アカウント、アプリ、データをコピーする」をタップすることで、設定を本機にコピーすることができます。

## Google アカウントについて

すでに Google アカウントをお持ちの場合は、アカウントの追加画面で、Gmail のメールアドレスを入力したあと、画面に従って操作してください。







## 安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 <b>危険</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷*1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 <b>警告</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷*1を負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷*2を負う可能性が想定される場合および物的損害*3のみの発生が想定される」内容です。

- ※ 1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

- ※ 2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※ 3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。
- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本端末、USIM カード、AC アダプタ (別売品)  
の取り扱いについて

 **危険**

高温になる場所や熱のこもりやすい場所 (火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など) で使用、保管、放置しないでください。



禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器にいれたり、近くに置いたりしないでください。



禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。



禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

水などの液体 (飲料水、汗、海水、ペットの尿など) で濡れた状態では、充電しないでください。



禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

分解、改造をしないでください。



分解禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

水などの液体 (飲料水、汗、海水、ペットの尿など) で濡らさないでください。



水濡れ禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

充電端子や外部接続端子に水などの液体 (飲料水、汗、海水、ペットの尿など) を入れないでください。



水濡れ禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 **警告**

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。



禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物 (金属片、鉛筆の芯など) を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。



禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、含んだりしないでください。



禁止

火災、やけどなどの原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。



指示

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。



禁止

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。



指示

- 電源プラグをコンセントから抜く。
- 本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



**注意**

破損したまま使用しないでください。



禁止

火災、やけど、けがなどの原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。



禁止

落下して、けがや故障などの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。



禁止

火災、やけど、感電などの原因となります。

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。



禁止

誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。



分解禁止

けがなどの原因となります。

本端末を長期間連続使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長期間触れることがないようにご注意ください。



水濡れ禁止

アプリ、データ通信や動画視聴など、長期間の使用や充電中は、本端末や充電機の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長期間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

## 本端末の取り扱いについて



### 危険

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

内蔵電池内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。

内蔵電池内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。



指示

ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。

ディスプレイ内部に物質などの影響により、失明や体調不良



指示

などの原因となります。



### 警告

フラッシュの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

自動車などの運転者に向けてフラッシュを点灯、発光しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。

点滅を繰り返す画面を長期間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。

本端末内の USIM カードや SD カード挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、USIM カードや SD カードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止



禁止



禁止



禁止

---

カメラのレンズに直射日光などを長期間あてないでください。



禁止

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

---

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。



指示

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社に指示に従ってください。

航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

---

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。



指示

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医療電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

---

イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。



指示

音量が大きすぎたり、長期間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

---

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。



指示

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

---

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。



指示

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

---

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。



指示

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

---

---

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れた強化ガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

ペットなどが本端末に噛み付かないようにご注意ください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



**注意**

モーションセンサーや地磁気センサーご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

ディスプレイを破損し、内部の物質などが触れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などに付けないでください。



指示



指示



指示



禁止



禁止

失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ワイモバイルショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。



禁止



禁止



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。



指示

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については、「使用材料」(→P.23)をご参照ください。

本端末の受話口部、スピーカー部、カメラ部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。



指示

付着物により、けがなどの原因となります。

## ACアダプタ(別売品)の取り扱いについて



警告

充電器のコードが傷んだら使用しないでください。



火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

充電器は、風呂場などの湿気多い場所では使用しないでください。



禁止

火災、やけど、感電などの原因となります。

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。



禁止

火災、やけど、感電などの原因となります。

充電器のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。



禁止

火災、やけど、感電などの原因となります。

コンセントに AC アダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。



禁止

火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタに海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。



禁止

発火、発熱、感電などの原因となります。

---

本端末に充電器を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。



禁止

火災、やけど、感電などの原因となります。

---

濡れた手で充電器のコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。



濡れ手禁止

火災、やけど、感電などの原因となります。

---

指定の電源、電圧で使用してください。



指示

また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な AC アダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

AC アダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

海外で使用可能な AC アダプタ：AC100V～240V（家庭交流用コンセントのみに接続すること）

---

プラグについたほこりは、拭き取ってください。



指示

ほこりが付着下状態で使用すると、火災、やけど、家電などの原因となります。

---

充電器をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。



指示

確実に差し込まないと、火災、やけど、家電などの原因となります。

---

電源プラグをコンセントから抜く場合は、充電器のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、充電器を持って抜いてください。



指示

電器のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

---

本端末の microUSB プラグを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。



指示

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

---

使用しない場合は、充電端子の電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源プラグを抜く

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

---

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。



電源プラグを抜く

火災、やけど、感電などの原因となります。

---

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源プラグを抜く

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。



**注意**

コンセントにつないだ状態で充電器に長期間触れないでください。



禁止

やけどなどの原因となります。

### 医用電気機器近くでの取り扱いについて



**警告**

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を 15cm 以上離して携行および使用してください。



指示

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医



指示

用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と 15cm 未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）



指示

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。



指示

医療電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

## Bluetooth®/Wi-Fi（無線 LAN）についてのお願い

- 本端末の Bluetooth®機能と無線 LAN 機能は、日本国内規格および EC 指令に準拠し、認定を取得しています。一部の国/地域では機能の使用が制限されます。海外でご利用になる場合はその国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 本端末は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本端末を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- 本端末は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - 本端末を分解/改造すること
- 本端末はすべての Bluetooth®/Wi-Fi 対応機器との接続/動作を保証するものではありません。
- Bluetooth®/Wi-Fi 機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth®/Wi-Fi の標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境や設定内容などによってはセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth®/Wi-Fi 機能で通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth®/Wi-Fi 通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本端末の Bluetooth®/Wi-Fi 機能の使用周波数帯では、電子レンジなどの家庭用電化製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1. Bluetooth®/Wi-Fi 機能を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、Bluetooth®/Wi-Fi 機能の使用にあたり、本端末から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、使用を中断して混信回避のための処置（パーティションの設置など）を行うなど、電波干渉をしないようにしてください。
  3. その他、本端末から移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お問い合わせ先（→P.23）までお問い合わせください。

### 周波数帯について

この無線機器は、2.4GHz 帯と 5GHz 帯を使用します。5GHz の周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz 帯 (W52/W53/W56) の 3 種類の帯域を使用することができます。



- #5.2GHz/5.3GHz 帯 (W52/W53) を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。
- 利用可能なチャンネルは国により異なります。無線 LAN を海外で利用する場合は、その国の利用可能周波数、法規制等の条件を確認の上、ご利用ください。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

### Wi-Fi についてのお願い

電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の Wi-Fi アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

### Bluetooth® と Wi-Fi 機器との電波干渉について

Bluetooth® と Wi-Fi (IEEE802.11b/g/n) は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、Wi-Fi のアクセスポイントや対応機器の近くで Bluetooth® を使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や接続不能の原因になる場合があります。この場合、本端末および Bluetooth®

接続する対応機器を離れた場所でお使いいただくか、または Wi-Fi 対応機器の電源を切るなど、電波干渉による障害を防ぐようにしてください。

### 技術基準適合情報について

技術基準適合情報を表示できません。

技適マークは「設定」→「端末情報」→「認証情報」で確認できます。

## 知的財産権について

### 肖像権について

- 他人から無断で写真をとられたり、取られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権とタレントなど経済的利益に着目下財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を取って公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

### 著作権について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本端末を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なお使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。
- 本端末に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は

著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部の複製、修正あるいは改変したり、リバースエンジニアリング等には行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

### 商標／登録商標について

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- Yahoo!およびYahoo!、Y!のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- HUAWEI は、中国 HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.の商標または登録商標です。
- Android™は Google Inc.の登録商標です。
- LTE は ETSI の商標です。
- Bluetooth®およびそのロゴは Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。この商標の使用は Huawei Technologies Co., Ltd.によりライセンス供与されています。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Chrome」、「Chrome」ロゴ、「Google+」、「Gmail」、「Google Calendar」、「Google Maps」、「Google トーク」および「YouTube」は、Google Inc.の商標また

は登録商標です。その他会社名および製品も、関連する会社の商標である場合があります。

- その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

## 本端末の比吸収率（SAR）について

**この製品【MediaPad T2 Pro】は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。**

この製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準\*1 ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、この通信端末に対する SAR の許容値は 2.0W/kg です。この製品を次に記述する所定の使用法\*3 で使用した場合の SAR の最大値は 1.092W/kg\*2 です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

### **この製品を人体の近くでご使用になる場合\*3**

この製品を人体の近くでご使用になる場合、身体から 1.5 センチ以上離してご使用ください。このことにより、この製品は国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを

評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)に規定されています。

※2 <携帯電話サービス>と同時に使用可能な無線機能を含みます。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

- 一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

電波ばく露の影響に関する情報として、**欧州における基準**を掲載しています。詳細は「**欧州における電波ばく露の影響に関する情報**」をご参照ください。

#### 「**欧州における電波ばく露の影響に関する情報**」

この製品【MediaPad T2 Pro】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

この製品から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器における SAR の許容値は 2W/kg で、アクセサリ等により（人体より 0.5 センチ以上離して、その間に金属(部分)が含まれないようにして使用する場合の）SAR の最高値は 1.38W/kg です。

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関（英文のみ）

<http://www.who.int/emf>

## Specific Absorption Rate (SAR) Information for this Product (for Japan)

**This product [MediaPad T2 Pro] meets Japanese technical regulations\* and international guidelines for exposure to radio waves .**

The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP\*\*, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this product is

1.092W/kg\*\*\* when used close to the body in the below manner\*\*\*\* .

While there may be differences between the SAR levels of various products and at various positions, all products meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the product during operation can be well below the maximum value.

### Use close to the body\*\*\*\*

To use this product close to the body, maintain a separation of 1.5cm with no metal (parts) between it and the body. This will ensure this product meets the Japanese technical regulations for exposure and international guidelines for radio wave protection.

\* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

\*\* International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

\*\*\* The value is under simultaneous transmission use conditions.

The World Health Organization has announced that "A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

For more information about SAR, see the following websites:

- Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)  
<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>
- Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
- <http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>  
(Japanese)

**This product [MediaPad T2 Pro] is confirmed to comply with guidelines relating to effects of radio wave exposure as set forth by the Council of Europe (CE) .**

#### **European RF Exposure Information**

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons,

regardless of age and health. The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body. In this case, the highest tested SAR value is 1.38W/kg\*.

(at the separation distance of 0.5cm from the body. ) For electronic safety, maintain the separation distance with accessories containing no metal, that position handset a minimum of the above distance. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

\* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

World Health Organization

<http://www.who.int/emf>

## 使用材料

MediaPad T2 Pro 本体	
使用箇所	材質／表面処理
ディスプレイ	強化ガラス
外装ケース（前面枠部分）	PC+9%GF/NCVM 処理
外装ケース（裏面）	PC+9%GF/UV 塗装
スロットカバー（表面）	PC/UV 塗装
電源ボタン/ 音量上ボタン/音量下ボタン	PC/UV 塗装
スロットカバー（裏面）	PC+9%GF
カメラレンズ	強化ガラス
フラッシュ/フォトカメラ	PMMA

## 保証とアフターサービス

### 保証について

本端末をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
- 本端末の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録/設定した内容が消失/変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本端末に登録したデータ（連絡先/音楽/静止画/動画など）や設定した内容が消失/変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末を分解/改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

### アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先（→P.23）または最寄りのワイモバイルショップへご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。
- アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのワイモバイルショップまたはお問い合わせ先（→P.23）までご連絡ください。

## 取扱説明書について

本書の最新版やユーザーガイドは、ワイモバイルホームページからダウンロードできます。

<http://www.ymobile.jp/lineup/606hw/support/>

## お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

### ワイモバイルカスタマーセンター

**お問い合わせの際に、ワイモバイルのスマートフォン・ケータイの電話番号と暗証番号（新規で契約時にお客様にてお決めいただいた4桁の番号）が必要となります。**

#### 総合窓口（通話料有料）

ワイモバイルのスマートフォン・ケータイから 151  
 一般電話、他社携帯電話から 0570-039-151  
 受付時間：9:00～20:00（年中無休）

#### 各種手続き（通話料無料）

ワイモバイルのスマートフォン・ケータイから 116  
 一般電話、他社携帯電話から 0120-921-156  
 受付時間：自動音声応答にて24時間受付（年中無休）

#### 海外から（通話料有料）

+81-44-382-0800  
 受付時間：9:00～20:00（日本時間/年中無休）

\* 一部の光電話、IP電話等からはご利用いただけない場合があります。  
 ご利用いただけない場合は、「044-382-0810（通話料有料）」をご利用ください。

ワイモバイルホームページ

<http://ymobile.jp/>



2017年1月 第1版発行

ソフトバンク株式会社

機種名: MediaPad T2 Pro

製造元: HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.



モバイル・リサイクルネットワーク  
携帯電話やその部品をリサイクルにご協力を。



やめましょう、  
歩きスマホ。



キケン!  
水ぬれ充電



31508301\_01